

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	第5回伊勢崎市下水道事業経営戦略等検討委員会
開 催 日 時	令和8年7月14日(火) 10時00分～10時45分
開 催 場 所	伊勢崎市上下水道局 会議室
出 席 者 氏 名	〔委員〕 熊倉委員長、平川副委員長、太田委員、木村委員、飯島委員、 萩原委員、岩瀬委員、江原委員、中田委員 〔事務局〕 柳澤上下水道局長、石井上下水道局副局長、 土屋総務課長、小沼下水道施設課長、 高橋治水課長、田中下水道整備課長、 齋藤下水道施設課伊勢崎浄化センター所長、松浪下水道施設課施設管理係長、矢島下水道施設課施設改修係長、関口下水道整備課下水道計画係長、五十嵐下水道整備課排水設備係長、金子下水道整備課工務係長、小保方経理係長、柄澤経理係長、南波料金係長、佐藤主査、斉藤主査
傍 聴 人 数	0名
会 議 の 議 題	・パブリックコメント手続きの結果について
会 議 資 料 の 内 容	・次第 ・伊勢崎市下水道事業経営戦略等検討委員会 委員名簿 ・席次表 ・資料1「伊勢崎市下水道事業経営戦略改定(案)」に関するパブリックコメント手続きの結果(案) ・資料2 パブリックコメント手続きの結果について

【第5回検討委員会】

1 議 題

- ・パブリックコメント手続きの結果について

事務局から資料1及び資料2「パブリックコメント手続きの結果について」に基づき説明があった。

【質問・意見】

委員長：パブリックコメントを募集したところ、2件のご意見がありました。

まずは、1つ目のご意見について、委員の皆さんからの率直な意見をお願いしたい。

委員：下水道事業について知らない市民の方が多く、使用料改定についても、改定後にはじめて気づく方がほとんど。下水道事業が使用料や受益者負担金等で賄われている仕組みをわかりやすく提示することで、値上げも納得して頂けるのでは。

委員長：加えて、下水道事業は下水道を使用していない方の税金からも補填をしてもらい、なんとか運営できていることも強調した方が良いでしょう。

委員：『下水道を使用していない下水道整備区域外の市民の方』と表現した方がわかりやすい。

委員：値上げをしてもらいたくないという気持ちは大変理解できるが、下水道事業の経営状況を知ると値上げは仕方ない。

委員：パブリックコメントをお寄せ頂いた方への対応や結果についての周知はどのようにするのか。

事務局：まず、コメントをお寄せいただいた方にはお礼状を出させて頂いている。市民の方への周知については、上下水道局庁舎窓口、市役所本庁および各支所の市民情報コーナーに資料を配布するほか、ホームページにて公表し、その旨を広報に掲載する予定です。

委員長：委員の皆さんの意見を反映し、丁寧でわかりやすい表現に修正してください。

委員長：続いて、2つ目のご意見に対する意見をお願いします。

委員：合併処理浄化槽を維持管理する場合と公共下水道に接続する場合、工事費は別としてメリットはどちらにあるか。

事務局：合併処理浄化槽は、個人のものとなるため、年1回の法定検査などの保守点検や清掃を、手続きも含め、利用者の方が負担します。公共下水道は、維持管理は市が行うため、年6回の下水道使用料の支払いのみとなります。コストの面については、合併処理浄化槽の大きさや利用する人数、維持管理を行う業者によって様々であるため、一概にお示しすることはできませんが、全国的な実態調査の資料によると、現状では、下水道に切り替えた場合の方がランニングコストは安いとされて

	います。ただし、今後、今回の経営戦略改定にあたり皆様に検討していただいているように、下水道使用料の改定はやむを得ない状況です。一方で、物価高騰等により合併浄化槽の維持管理に要する費用も上昇することが見込まれるため、一概に比較することは難しい状況です。なお、合併処理浄化槽を利用する場合も公共下水道に接続する場合も、適切な維持管理を行うことで、河川等にきれいな水を排出するものとなっています。 委員長：コメントをいただいた方のように、下水道整備区域であるが、家を建てる時点では、管路の整備が進んでいなかったため、合併処理浄化槽により汚水処理を行っていただいた方がいる。いざ、整備が行われ、接続が可能な状態になったが、合併処理浄化槽から下水道へ切り替えを費用の面から悩んでいる市民の方は多いと思う。 事務局：市としては、公共工事として下水道整備が進んだ地区の方には下水道への接続をお願いしたいというのが大前提となります。 公共下水道が普及していない地域の方につきましては、合併処理浄化槽で汚水を処理していただいておりますが、どちらが有利不利というのは、先ほどの説明のとおり金額だけでは比較できませんし、金額面についても今後の動向により一概に表現できないというのが現状です。いずれも目的は、汚水をきれいな水にして公共水域に流すというものですので、それぞれのメリット等を整理した表現にしたいと考えます。 委員長：コメントをいただいた方は、合併処理浄化槽により、これまで汚水をきれいな水へと、環境面に配慮をいただいていた方です。費用を比較したうえで、接続を悩むのは当然のことと思います。貴重なご意見だと思います。今後、これまで合併処理浄化槽を利用してきた地区にお住まいの方が、下水道への接続が可能となった場合に、下水道への接続を理解してもらえよう、切り替えに要する費用や工法など、窓口にて個別の相談を受け付けるなど、接続を促すような対応が必要だと思います。 委員：下水道への接続には、どのような工事が必要でそのための費用はこのくらいかかる。今後は、下水道使用料で年間いくらになるというのが分かれば、接続に踏み出せると思う。 委員：これから家を建てようとしている方で、同様な状況に直面している方もいるのでは。 委員：下水道の整備が具体的に決定している地域については、設計段階で業者が市に相談すると情報提供を受けることができるため、下水道への接続がしやすいよう設計を変更するなど、対応ができるようになっています。
--	---

委員長：皆さんの意見を参考に、下水道への接続に踏み出せるような修正をしてください。

最後に、本日で検討委員会はすべての議事が終了となります。

今回までの検討委員会での協議を踏まえて、資料を整理し、会を代表し、委員長、副委員長から市長に改定案を意見書として提出することとなりますが、提出にあたって、委員会として強調しておきたいことなどがあればお願いします。

委員：大半の市民の方は下水道事業に興味がない。知らない方が多い。上下水道だよりなどを使い、下水道事業について市民の皆さんに知ってもらう工夫が必要だと思う。

委員：市民の方に、下水道事業に対する意識、環境に対する意見を高めてもらいたい。

生活に密着した大変素晴らしいパブリックコメントをいただいたので、これをきっかけに、下水道事業を知ってもらい、接続を促すような資料の充実を図って欲しい。

委員長：「資料の充実を」ということで、窓口で相談に来られた方に、下水道への接続を理解してもらい、踏み出せるような資料や、単独浄化槽から合併処理浄化槽への資料を、下水道、環境への意識を高めるといいう観点から他部署とも連携して充実して欲しいと思います。

委員：委員会に参加することで、下水道の仕組みや適正な維持管理のためには使用料の改定もやむを得ないことを学びました。こういった内容を周知できる機会が増えれば、市民の方も理解していただけるのではと思いました。

委員：下水道整備計画地域に住みながら、合併処理浄化槽を利用し、接続を待ち望んでいる方もいる。そう言った市民の声も大切にし、接続促進を進めて欲しい。

委員：コメントを頂いた方は生活に密着した課題として、下水道に関心をいただいている方だと思う。関心が無い方への周知は難しい課題だと思うが、取り組んで欲しい。

委員：将来的に安定的に事業を進めることが、経営戦略の大切な部分だと思う。丁寧な説明で市民の方の理解を得ながら計画を進めていただきたい。

副委員長：電気料やガス料金のようにテレビや新聞等による報道で値上がりを発表するだけでは済まないのが、下水道使用料なのだと思います。委員の皆様のご意見のとおり、なるべく多くの市民の方の理解を得られるよう知恵を絞っていただいて、今後も下水道事業の安定運営に取り組んでいただければと思います。